# 平成１７年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

| （整理番号）<br>408<br>※記入不要 | 提案機関名 | 自然環境保全センター県有林部 |
|---|---|---|

**要望問題**

渓畔林再生のための小流域単位の生物群集、水循環及び土壌保全に関する総合的研究

**要望問題の内容**　【　背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）　】

＜背景＞

県営林の約６割を占める県有林は、主に丹沢山系及び箱根山系の中高標高域を中心に分布し、水源かん養や生物多様性保全など多面的な機能を担っている。特に、渓流沿いに成立する自然林（渓畔林）は、多様な生物種の生息環境や野生動物の移動経路としての働きや、河川・渓流の健全な水循環維持に重要な役割を果たしていると考えられる。このような渓畔林は、様々な森林利用や人工構造物の設置等により分断され、連続性が失われた状況にあるため、その再生が森林管理の上で課題となっている。

＜内容＞

そこで、渓畔林の現状及び再生目標と手法を明らかにするために、山地小集水域の生物群集、水循環、土砂流出及び土壌特性等について、森林と渓流を一体的にとらえ、生物間相互作用及び生物・環境間相互作用の視点から解析する総合的な調査研究を要望する。

＜対象地域＞

丹沢山系及び箱根山系の県有林一円

| | |
|---|---|
| 解決希望年限 | ①１年以内　②２～３年以内　**③４～５年以内**　④５～１０年以内 |
| 研究対応区分 | **①研究所対応**　②委託研究　③共同研究　④その他 |
| 対応を希望する研究機関名 | ①農業総合研究所（ ②根府川試験場　③三浦試験場　④津久井試験場 ）<br>⑤畜産研究所　⑥水産総合研究所（ ⑦内水面試験場　⑧相模湾試験場 ）<br>**⑨自然環境保全センター** |

※　ここから下の欄は、回答者が記入してください。

| | |
|---|---|
| 回答機関名 | 自然環境保全センター研究部 |
| 部　　署： | 森林資源グループ |
| 対応区分 | ①実施　**②実施中**　③継続検討　④実施済　**⑤調査指導対応**　⑥現地対応　⑦実施不可 |
| 試験研究課題名 | （①、②、④の場合） |

**対応の内容等**

丹沢大山総合調査で平成１６年度から調査を行っております。また事業との関連で必要であれば調査、指導対応をいたします。

| | |
|---|---|
| 解決予定年限 | ①１年以内　**②２～３年以内**　③４～５年以内　④５～１０年以内 |
| 備　考 | |